

看護師特定行為研修に関するご案内

日本の医療を支えるために
チーム医療の中心的存在として
看護師のよりの確な判断と
特定行為実践が求められています

当センターの看護師特定行為研修は、6つのパッケージ等において職業実践力育成プログラム（BP）の認定を受けています。



 **Dokkyo Medical University**
Staff Development Center

<http://www.dokkyomed.ac.jp>

看護師特定行為研修とは？

在宅医療の推進やチーム医療の促進を目的に、厚生労働省が創設し 2015 年 10 月からスタートした研修制度です。医師や歯科医師と連携しながら、手順書にしたがって特定行為を実施できる看護師を育成していきます。

特定行為は 21 区分 38 行為が指定されており、「共通科目」と「区分別科目」の研修を修了することで、特定行為を実施することができるようになります。

詳細は厚生労働省ホームページをご参照ください。

共通科目

厚生労働省 看護師特定行為研修

検索 

特定行為区分に共通して必要とされる能力を身に着けるための科目です。(研修期間:6 か月)

| 共通科目名 | 時間数 |
|--------------|--------|
| 臨床病態生理学 | 30 時間 |
| 臨床推論 | 45 時間 |
| フィジカルアセスメント | 45 時間 |
| 臨床薬理学 | 45 時間 |
| 疾病・臨床病態概論 | 40 時間 |
| 医療安全学/特定行為実践 | 45 時間 |
| 合計 | 250 時間 |

特定行為区分・特定行為

特定行為は、看護師が行う診療の補助行為であり、38 行為を 21 の区分にしています。

(研修期間:6 か月)

| | 区分別科目 (21) | 特定行為 (38) | 時間数 | 定員 |
|---|----------------------|-----------------------------------|-------|------|
| 1 | 呼吸器 (気道確保に係るもの) 関連 | ①経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 | 9 時間 | 10 名 |
| 2 | 呼吸器 (人工呼吸療法に係るもの) 関連 | ②侵襲的陽圧換気の設定の変更 | 29 時間 | 10 名 |
| | | ③非侵襲的陽圧換気の設定の変更 | | |
| | | ④人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 | | |
| | | ⑤人工呼吸器からの離脱 | | |
| 3 | 呼吸器 (長期呼吸療法に係るもの) 関連 | ⑥気管カニューレの交換 | 8 時間 | 10 名 |
| 4 | 循環器関連 | ⑦一時的ペースメーカーの操作及び管理 | 20 時間 | 2 名 |
| | | ⑧一時的ペースメーカーリードの抜去 | | |
| | | ⑨経皮的心肺補助装置の操作及び管理 | | |
| | | ⑩大動脈内バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整 | | |
| 5 | 心嚢ドレーン管理関連 | ⑪心嚢ドレーンの抜去 | 8 時間 | 5 名 |
| 6 | 胸腔ドレーン管理関連 | ⑫低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更 | 13 時間 | 10 名 |
| | | ⑬胸腔ドレーンの抜去 | | |
| 7 | 腹腔ドレーン管理関連 | ⑭腹腔ドレーンの抜去 (腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。) | 8 時間 | 10 名 |
| 8 | ろう孔管理関連 | ⑮胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 | 22 時間 | 3 名 |
| | | ⑯膀胱ろうカテーテルの交換 | | |

| | | | | |
|----|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----|
| 9 | 栄養に係るカテーテル管理 (中心静脈カテーテル管理) 関連 | ⑰中心静脈カテーテルの抜去 | 7時間 | 10名 |
| 10 | 栄養に係るカテーテル管理 (末梢留置型中心静脈注射用 カテーテル管理) 関連 | ⑱末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入 | 8時間 | 2名 |
| 11 | 創傷管理関連 | ⑲褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 ⑳創傷に対する陰圧閉鎖療法 | 34時間 | 10名 |
| 12 | 創部ドレーン管理関連 | ㉑創部ドレーンの抜去 | 5時間 | 10名 |
| 13 | 動脈血液ガス分析関連 | ㉒直接動脈 穿 刺法による採血 ㉓橈骨動脈ラインの確保 | 13時間 | 10名 |
| 14 | 透析管理関連 | ㉔急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理 | 11時間 | 5名 |
| 15 | 栄養及び水分管理に係る薬剤 投与関連 | ㉕持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ㉖脱水症状に対する輸液による補正 | 16時間 | 20名 |
| 16 | 感染に係る薬剤投与関連 | ㉗感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与 | 29時間 | 10名 |
| 17 | 血糖コントロールに係る薬剤 投与関連 | ㉘インスリンの投与量の調整 | 16時間 | 5名 |
| 18 | 術後疼痛管理関連 | ㉙硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整 | 8時間 | 10名 |
| 19 | 循環動態に係る薬剤投与関連 | ㉚持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ㉛持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 ㉜持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 ㉝持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 ㉞持続点滴中の利尿剤の投与量の調整 | 28時間 | 10名 |
| 20 | 精神及び神経症状に係る薬剤 投与関連 | ㉟抗けいれん剤の臨時的投与 ㊱抗精神病薬の臨時的投与 ㊲抗不安薬の臨時的投与 | 26時間 | 10名 |
| 21 | 皮膚損傷に係る薬剤投与関連 | ㊳抗癌剤その他の薬剤が血管外に漏出したときのステロイド薬の局所注射及び投与量の調整 | 17時間 | 2名 |
| 22 | 在宅・慢性期領域パッケージ ※ | 4行為 ⑥ ⑮ ⑲ ⑳ | 61時間 | 2名 |
| 23 | 外科術後病棟管理領域パッケージ ※ | 15行為 ① ② ③ ⑥ ⑫ ⑬ ⑭ ⑰ ⑱ ㉑ ㉒ ㉕ ㉙ ㉚ ㉛ | 119時間 | 2名 |
| 24 | 術中麻酔管理領域パッケージ※ | 8行為 ① ② ⑤ ㉒ ㉓ ㉖ ㉙ ㉚ | 70時間 | 5名 |
| 25 | 救急領域パッケージ※ | 9行為 ① ② ③ ④ ⑤ ㉒ ㉓ ㉖ ㉟ | 76時間 | 5名 |
| 26 | 外科系基本領域パッケージ | 7行為 ⑰ ⑲ ㉑ ㉒ ㉖ ㉗ ㉙ | 95時間 | 5名 |
| 27 | 集中治療領域パッケージ | 10行為 ① ② ④ ⑤ ⑦ ⑰ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ | 76時間 | 2名 |
| 28 | 精神・栄養ケアモデル※ | 5行為 ㉕ ㉖ ㉟ ㊱ ㊲ | 45時間 | 30名 |

※専門実践教育訓練給付制度の指定講座です。

時間数は、省令で定められたものです。
この他に各行為5症例の実習を行います。

受講スケジュールイメージ(令和4年10月～)

<年間スケジュール(予定)>

| 年月 | 予 定 |
|-------|----------------------------------|
| R5年4月 | 入講式 |
| 5月 | 共通科目 e-learning |
| 6月 | |
| 7月 | |
| 8月 | 演習・実習 筆記試験 |
| 9月 | 課題提出・共通科目修了 |
| 10月 | 区分別科目 e-learning (21区分・パッケージ) |
| 11月 | |
| 12月 | 演習・OSCE |
| R6年1月 | 実習(実技各5症例) |
| 2月 | |
| 3月 | |
| | 修了式 |

<区分別実習の一日の流れ(案)>

| 時間 | 実習内容 |
|-------|---------------------------------|
| 7:30 | 受け持ち患者の情報収集 |
| 8:00 | 朝回診(指導医とスケジュール調整) |
| 9:00 | 受け持ち患者の診察 |
| 10:30 | スキルラボで特定行為の自己練習 |
| 12:00 | 休憩(カンファレンスの準備) |
| 13:30 | カンファレンス参加 (プレゼンテーション・助言を受ける) |
| 15:00 | 特定行為の実践 |
| 16:00 | カルテ記載(指導医より助言を受ける) |
| 16:30 | 夕回診(翌日以降のスケジュール調整) |
| 17:30 | 報告書・観察評価表提出 |

今後の予定

令和4年11月 受講者募集開始
 令和5年3月 受講手続
 令和5年4月4日 開講式・オリエンテーション
 共通科目受講開始
 令和5年10月 区分別科目受講開始
 令和6年3月下旬 区分別科目修了 特定行為研修修了



PICC カテーテル挿入



壊死組織の除去

募集要項

ホームページからダウンロードしてください。

獨協医科大学 看護師特定行為研修

検索

獨協医科大学 SDセンター 看護師特定行為研修
 担当：永井(副センター長)、稲葉(看護教育部門長)
 円谷・梅田・池本(事務員)
 〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林 880
 TEL：0282 (87) 2494 FAX：0282 (87) 2025
 e-mail：sd@dokkyomed.ac.jp
<https://dept.dokkyomed.ac.jp/dep-m/ine/tokutei/>



ホームページ用
二次元コード



エントリー用
二次元コード